

Same
Picture
Company

施 工 事 例 集



MADE IN SPC.

01

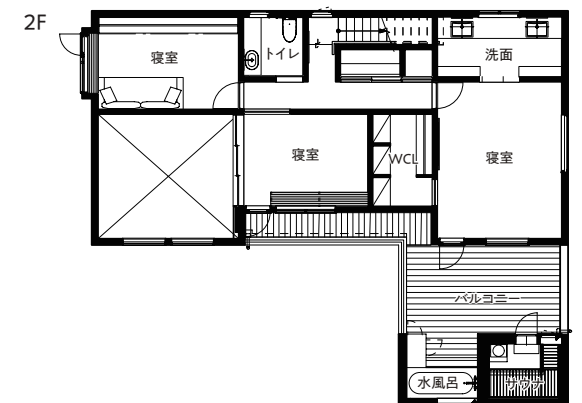
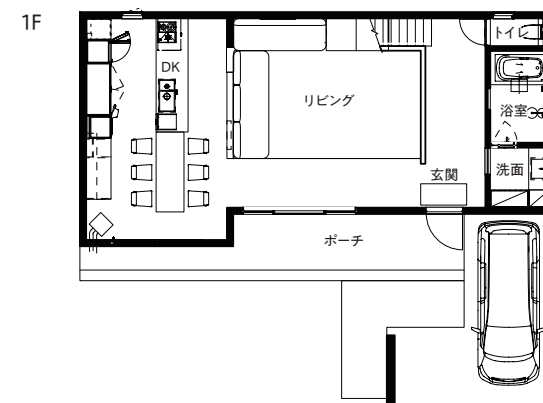
梅の木ハウス

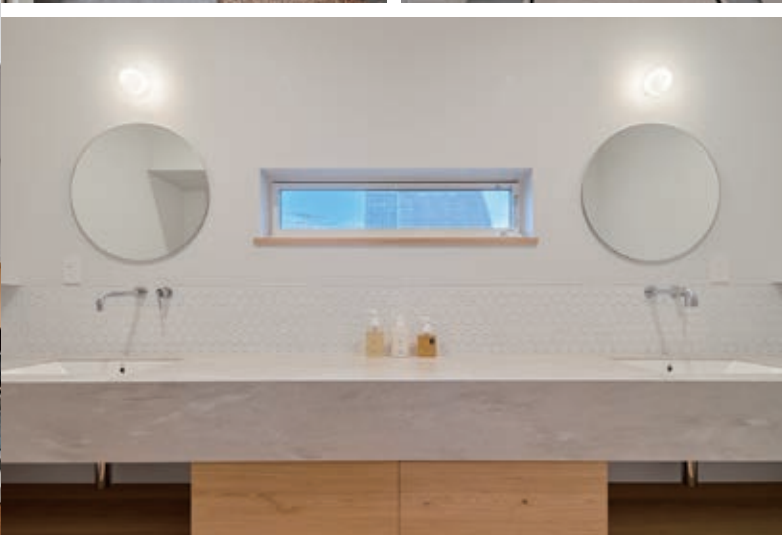
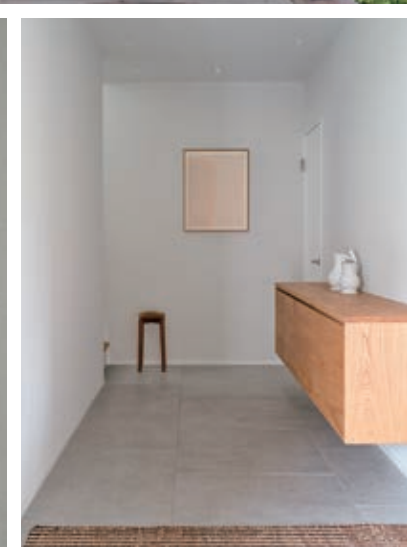


所在地：神奈川県
構造：木造
建築面積：100.61㎡
延床面積：168.65㎡
土地面積：244.73㎡

家族の思いがたくさん詰まった実家の梅の木のある庭をそのまま残し建物だけを新築に建て替えた住宅は、どこにいても四季を感じることができる豊かなお庭とLDKが緩やかに繋がるおおらかさが魅力。“たくさんの人達が集まれるような家”をテーマに、普段は都心に住まわれている『uka』の代表であるお施主様のセカンドハウス。将来的にはお店のスタッフの研修スペースとしても活用できる場所に。1階は、お風呂、洗面、トイレ以外の間仕切りを無くして大きなワンルームのような間取り。ダイニングの上部の吹き抜けに面した2階の引き込み戸を開くと、1階にいる人達ともコミュニケーションがとれ、また、集いの場となる掘り込みのリビングには造作ソファを設え、どこに居てもみ

んなで会話が弾むような環境を実現している。幅3mを超える造作のキッチンの天板と側面は、『uka』の店舗カウンターでも採用している人造石研ぎ出し左官仕上げで設え、みんなでワイワイ料理を楽しむことができる。2階のバルコニーにはご主人こだわりの檜のサウナと水風呂が設置されていて、ここに集まった人達は外でバーベキューをしたり、2階のロウリュウサウナ&水風呂&日光浴で整ったり、それぞれが自由に過ごし方を楽しんでいるそう。梅の木ハウスは上品な意匠の中にいろいろな集い方、楽しみ方を受け入れてくれるおおらかさがあり、訪れた人達の思い出の一部にそっと寄り添ってくれる場所でもある。





【01】 造作ソファを設えたリビングは掘り下げることでもり感が生まれ、奥行きと立体感が出る空間に。【02】 高窓から降り注ぐやわらかな自然光。吹き抜けがある空間は開放感と上下階を繋ぎ、どこにいても家族の気配が感じられる構成。【03】 家事動線をスムーズにすることで、料理をしながら家族やゲストとコミュニケーションがとれるダイニングキッチンに。

【01, 02】 バルコニーに設た隣り合う檜のサウナと水風呂。【03】 広さがある2階トイレ洗面。アクセントタイルが目惹く造作カウンター。【04】 人造石研ぎ出し左官仕上げの天板を採用した1階の洗面脱衣室には、大容量の収納が完備している。【05】 洗面脱衣に面した在来工法のバスルームは、センス良くサイズや色違いのタイルが貼り分けられている。【06】 玄関を入るとすっきりとした空間が広がり、無垢材のシューズクローゼットが温かみを添えている。【07】 夫婦専用の造作洗面室はコーリアンの天板とオークの面材を使用。

02

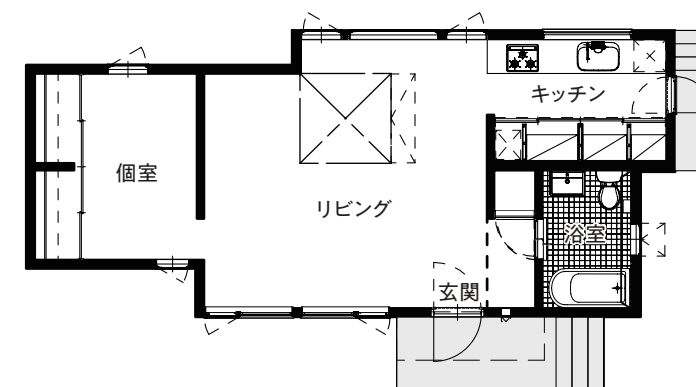
小さな家

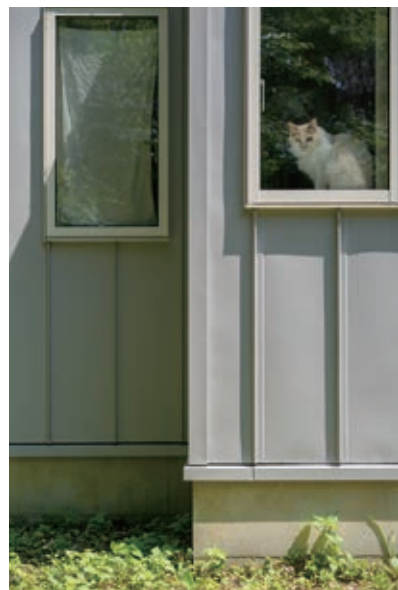
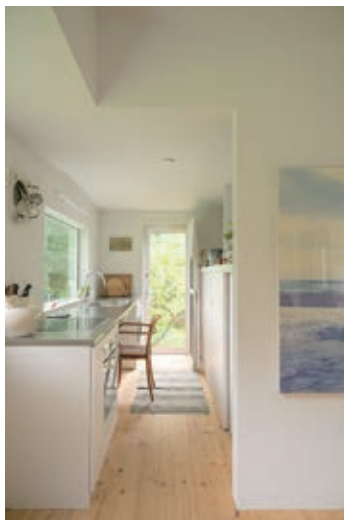
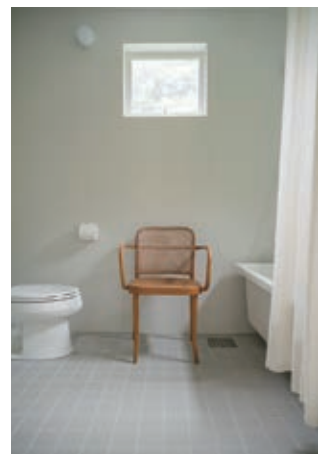
所在地：神奈川県鎌倉市
構造：木造
建築面積：54.60㎡
延床面積：54.60㎡
土地面積：464.08㎡



広い庭にたくさんの樹々が生き茂る自然豊かな鎌倉の山の中に、一人で住むのにちょうどいいサイズの小さな平屋が完成。白を基調としたスタイリッシュな居室の床には足触りの良いパイン無垢材のフローリングを、また、天井は一坪分高くして東からの日や風を取り入れるために高窓を設えた。照明はダウンライトを付けずに北欧製などの間接照明だけで部屋全体を包み込み、夜は柔らかく優しい灯りでゆっくりと過ごせる空間に。
余計なものを削ぎ落としたシンプルなキッチン、オリジナルのステンレスカウンター、海外製のオープンと洗濯乾燥機、あると

嬉しいお勝手口で構成。背面にある大容量のパントリーやリビングの本棚、建具も造作で設えている。玄関ドアは荷物だけ受けられるように上下が分割して開くデザインにし、ドアの左下には愛猫用の“ネコドア”も設えた。
水まわりを潔く1箇所にとまとめ、海外のホテルをイメージした在来浴室は、猫足のバスタブをメインに塗装壁とタイルの床でコーディネートし洗練された空間に。外壁と屋根をグレーの艶消しガルバリウム鋼板で全体を覆うことで草木に馴染み、森の中にぽんと置いたような佇まいの家が完成した。





01		
02	03	04

【01】 レッドパインの無垢フローリングと塗装壁に、造作本棚と北欧家具が馴染む空間。【02】 リビングから奥まった場所に配置したキッチンスペース。【03】 ステンレスのカウンターの造作キッチンの背面には大容量のパントリー、また、庭にアクセスできるお勝手口も。【04】 リビングの奥にはWCLと主寝室。

【01】 ガルバリウム鋼板を採用した外壁と屋根は、同じ素材に揃えることでひとつの塊のような可愛いプロポーションに。【02】 掃き出し窓をなくし腰高窓だけを採用した家。【03】 木製造の玄関ドアは、上下が分割して開くデザインに。左下には小さな愛猫用の“ネコドア”を設えた。【04】 モルタル左官仕上のポーチ。【05】 庭を眺める愛猫。【06】 猫足のバスタブ。【07】 ホテルライクなシンプルな洗面手洗い。【08】 磁器質タイル貼の床と樹脂モルタル左官+塗装壁の在来工法の浴室。

01		06
		07
02	03	08
04	05	

03

丘の上のホームグラウンド

所在地：神奈川県三浦郡葉山町

用途：住宅

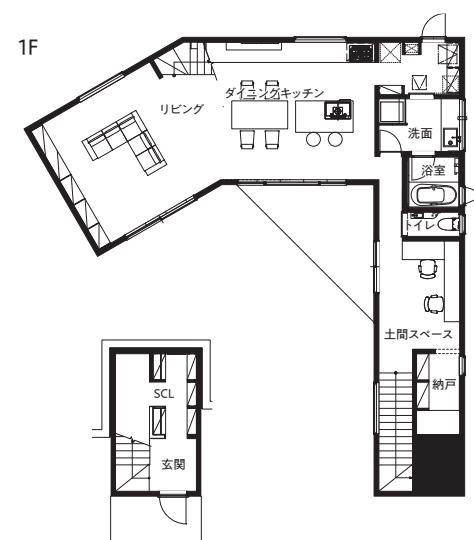
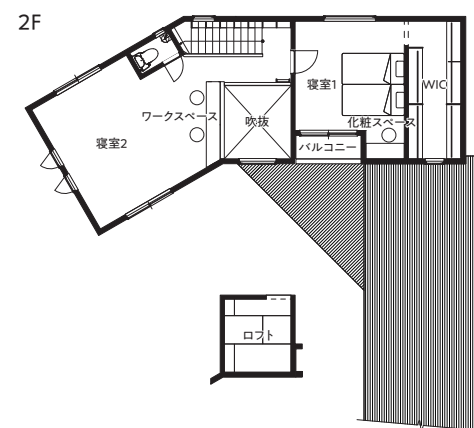
構造：木造

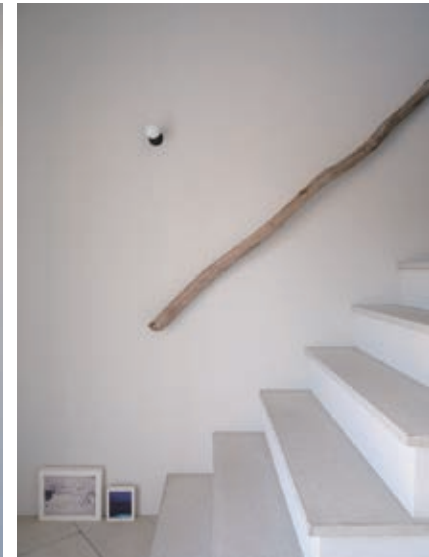
建築面積：98.66㎡

延床面積：162.75㎡

自然豊かな斜面地に建つ、地下1階・地上2階建ての木造住宅。扇状に広がる敷地形状を活かし、L字型に開けた庭とリビングが緩やかにつながり、開放感あふれる住空間を実現。その間に明確な境界を設けず緩やかにつなげることで、どこにいても家族の気配を感じられる構成に。30帖のLDKは柱のない大空間でありながら耐震等級3を取得し、安心・安全にも配慮した住宅。大きなリビングの吹き抜けの上部に設けたロフトは宙に浮かぶ秘密基地のような場所。子供部屋は将来2部屋に分割できるような設計に。

また、コンセプトのひとつである「雨の日でも遊べる家」を実現するために設えた大きな庇は、天候に左右されずいつでも子どもたちが遊べる空間となった。大好きな本や絵、家族写真など、“好き”なものに囲まれ、眺めて楽しめる工夫を随所に散りばめている。自然や街並みに調和しながら、家族それぞれが思い思いに過ごせる、“ベースキャンプ”のような家の完成です。





[01] 階段のリズムに沿って造作した本棚は、家族の「好き」が詰まっている。[02] ビビッドなタイルが目を引くキッチン。北海道産無垢材キハダの造作テーブルが、空間に温かみを添える。[03] 将来2 部屋に分割できる子供部屋。[04] 吹き抜けの上部にある宙に浮いたロフトは、多目的に活用できる場所。[05] 吹き抜けに面したお子さまのスタディーコーナーには、無垢材の造作デスクを設えた。[06] カラフルな色彩で魅せる、奥様の遊び心とセンスが際立つトイレ。[07] ハイサイド窓からの採光で、暗くなりがちな洗面に安定した明るさを確保。[08] L字で庭を包み込み、LDKと連続させた設計。大きな庇は雨の日も楽しめる外遊びの場に。[09] 将来の子ども部屋は、三角屋根の勾配天井で遊び心をプラス。

01	02	
03	04	05
06	07	08
09		

[01] 庭を中心にLDKを配置。外部と連続する開放的なプランニング。[02] 地下1階のエントランスから連続する天井高を確保した大容量のシューズクローク。[03] 階段の段板にはコンクリートの平板を採用。流木の手摺が、素材の対比を際立たせる。[04] ご夫婦兼用の趣味とワークスペースの場。有孔ボードの壁が、使い方を広げる。

04

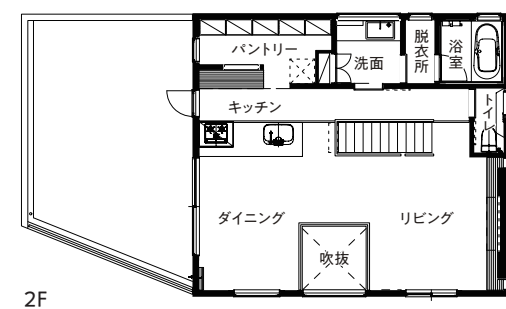
佐藤家

所在地：神奈川県厚木市
構造：木造
建築面積：88.60㎡
延床面積：139.12㎡
土地面積：216.00㎡

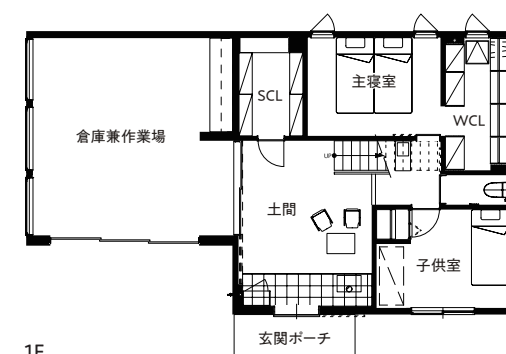
2階のリビングに集う家族や友人の顔をぐりりと見渡せるよう、柱を立てずに広々とした空間と高さを出すために構造設計してつくられた勾配天井が特徴の佐藤家。その空間を実現させるために「金輪継」で継いだ全長8mの棟木は室内から仕上げとして見ることができる。倉庫兼作業場と繋がる土間は、暖炉を囲みながら愛車を眺めたりお酒を嗜んだり家族と友人の憩いの場。

居室は自然素材の左官壁で仕上げ、テレビを設置している壁面のみハタノワタルさんの黒谷和紙の柿渋を裏面使いで仕上げた。フローリング、建具、巾木、階段、造作キッチン、トイレ洗面の棚、玄関と倉庫の扉、外壁など、内外共に北海道産の無垢材を贅沢に使用。造作キッチンの天板と、トイレの棚にはキハダの耳付き一枚板を採用している。

モルタルと北海道産無垢杉材のコンビネーションですっきりとした外壁と、造園職人と一緒に植物を選びに行ってセレクトした植栽の相性も良い。比較的交通量の多い道路からのファサードを意識したプロポーションの佐藤家は、街並に馴染むように溶け込んでいる。

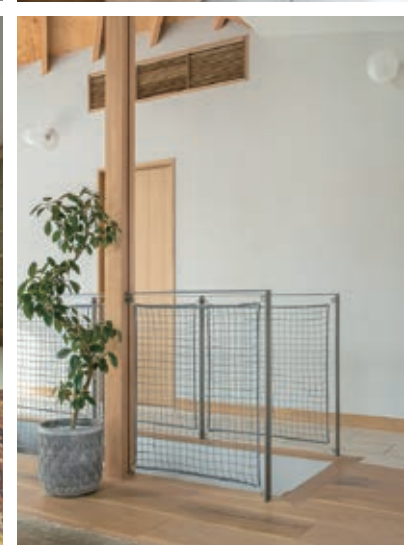
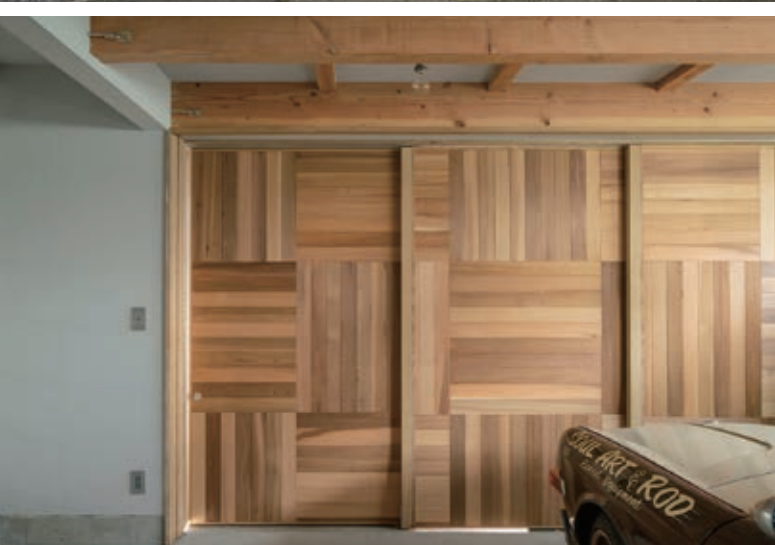
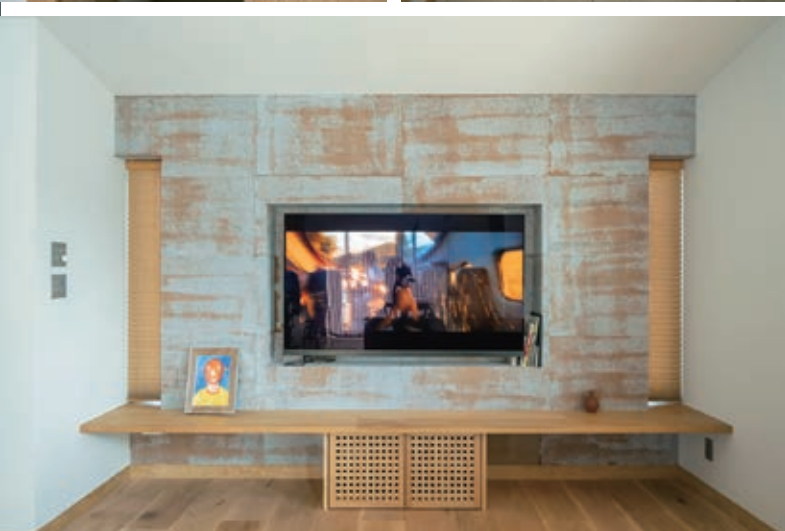
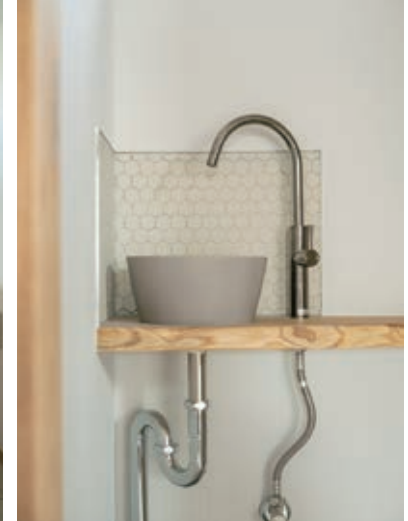
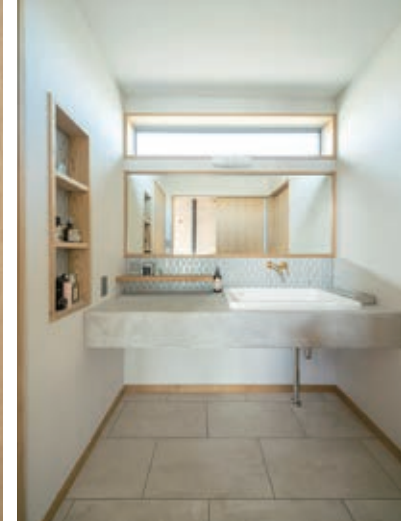


2F



1F





01	
02	03

【01】外壁は北海道産地杉×ラスモルタル掻き落とし左官仕上げのコンビネーション。【02】倉庫の造作扉。【03】倉庫兼作業場から緩やかに繋がる土間。

【01】突板造作ドアと個性的で可愛いドアの引き手。【02】モルタルの天板と大判のタイルで設えた造作の洗面。【03】キハダの耳付き無垢材の手洗いカウンター。【04】造作キッチンの天板と側面には厚さ45mmの耳付きミズナラ無垢材を贅沢に使い、腰壁はモルタルの金コテ仕上げ。【05】ハタノワタルさんの黒谷和紙で仕上げたテレビ周りの壁。【06】造作キッチンのカップボード。キハダ無垢材の天板と額縁、コナラ無垢材の前板。【07】広い土間と二階の空間を繋げる吹き抜け。【08】暖炉の炎を眺めながらゆっくりとした時間を土間で過ごす。【09】吹き抜け部分に設えたスチール手摺。【10】正面から見たキッチン。奥には大容量のパントリーを設えた。

01	02	03	04
05		06	
07	08	09	10

05

桜山の家

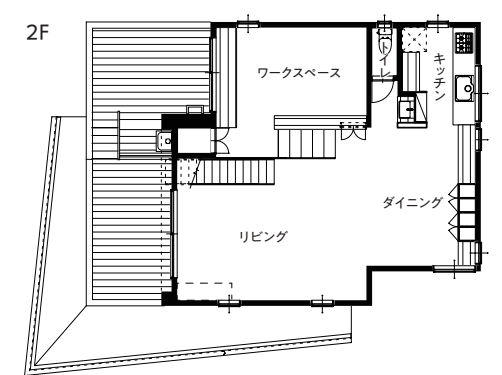
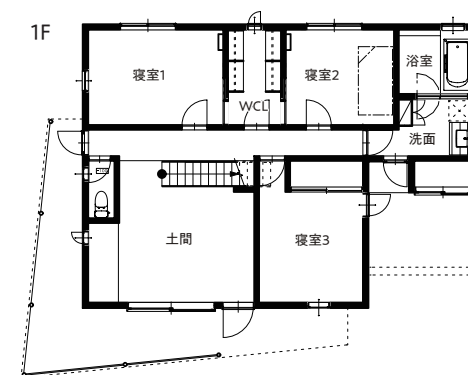
所在地：神奈川県逗子市
構造：木造
建築面積：89.26㎡
延床面積：152.17㎡
土地面積：180.58㎡

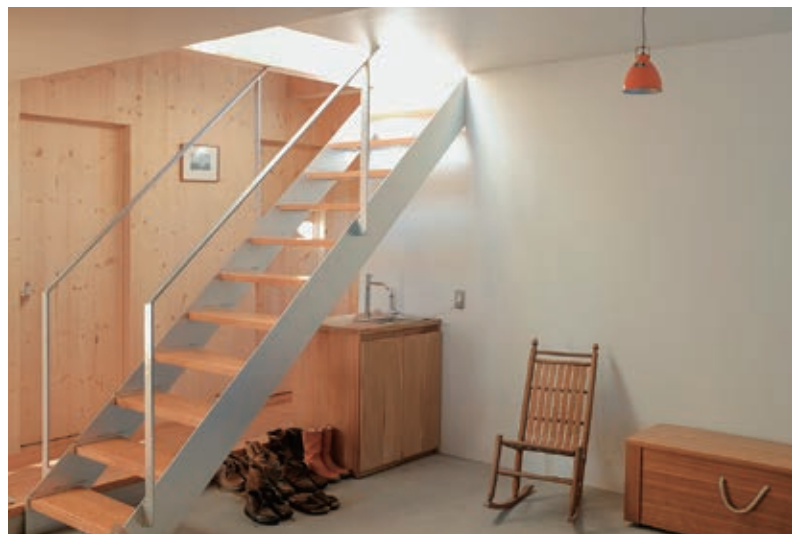
2階から海を眺められる、小高い谷戸に建つ5人家族のための住宅。山間の立地のため日照をできるだけ室内に取り入れられるように高窓を効果的に使用。

みんなが集まる2階のLDKは仕切りをなくすことで、どこにいても家族の気配を近くに感じることができ、ロフトやスキップフロアを工夫してプランニングすることで空間にメリハリをつけている。

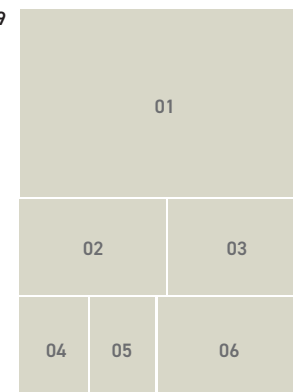
ゆとりある空間の中でのびのびとした時間が流れる玄関土間は、暖炉とソファを置くことでセカンドリビングとして使える設えとなった。

施主の希望でスクエアなファサードをデザインし、全体的にすっきりとした印象に。外壁だけでなく内壁や造作家具に鹿児島県産無垢材をふんだんに使った仕上げとなっている。

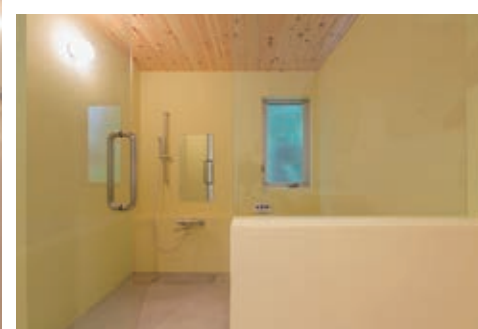
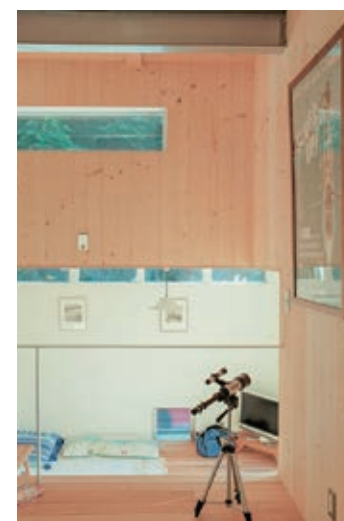




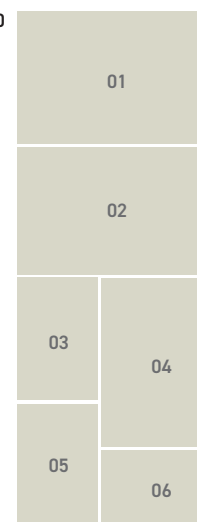
P09



【01】 鹿児島県産無垢杉材とモルタル下地ジョリパットコテ塗の外壁。奥行き深い庇の下にある濡れ縁スペース。【02】 造作で仕上げたソファと下駄箱がある土間スペース。【03】 塗装壁の土間スペースと、杉板の壁と同じ材でつくられた片開きドア。【04】 2階のリビングへと続くスチール階段。【05】 高窓から光が降り注ぐ土間スペース。【06】 バルコニーに繋がる開放的なリビング。



P10



【01】 子供部屋のロフトから繋がる隠し扉。【02】 センターにあるWCLを仕切りとした2部屋の子供部屋。【03】 採光のためリビングに設けた高窓。【04】 リビング横にスキップフロアで繋がるワークスペース。【05】 ガラスパーティションで繋がる浴室と洗面脱衣所。【06】 在来工法の浴室。

06

小町の家

所在地：神奈川県鎌倉市

構造：木造

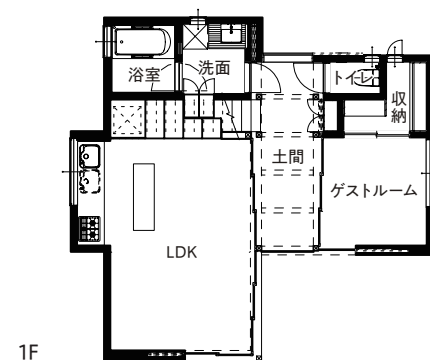
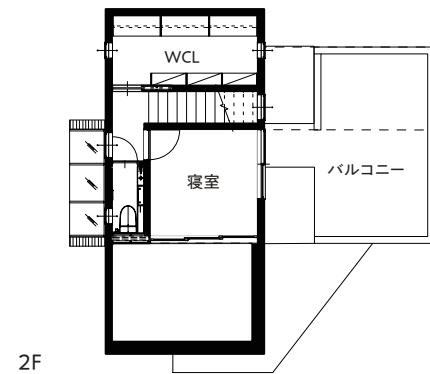
建築面積：89.26㎡

延床面積：152.17㎡

土地面積：126.00㎡

観光で賑わう鎌倉の路地を少し入った閑静な住宅地に建つ焼杉の外壁が特徴的な一戸建ての住宅。2階はWCLと寝室とシンプルな間取りで、1階はLDKと水回りに加えゲストルーム兼書斎など、シーンによって色々な使い方ができるよう引き戸を多用し可変性を持たせるプランニングにしている。

中間期のバルコニーで食事や読書をしたい施主の要望に応えるため、一部は屋根を葺いて雨をしのぎ、一方では陽の光を遮れるように屋根垂木をルーバーとして設えた。大きな台形FIX窓、高窓、天窓をうまく配置することで、東西南北から採光をうまく取り込み一日を通して心地よい光が居室に降り注ぐ。土間とリビングを仕切る造作建具を引き込むことで外と内を緩やかに繋ぎ、ひとつづきの開放的な空間が生まれた。





01		
02	03	04

【01】玄関土間とひとつづきのLDK。【02】階段下スペースを活用した収納と造作キッチン。【03】吹き抜けを介して2階と繋がるLDKと寝室。【04】土間スペースから2階バルコニーに繋がるブリッジを見上げる。

01	02	05
03	04	
06	07	

【01】土間、ゲストルーム、LDKを間仕切る引き込み戸。【02】造作建具を引き込むことで外と内を緩やかに繋ぐ。【03】造作キッチン上部の天窗。【04】階段上の高窓。【05】土間スペース上部天窗。【06】天井現しの寝室。【07】ハーフユニットバスと、タイルをくり抜いたニッチスペース

07

二世帯暮らしの家

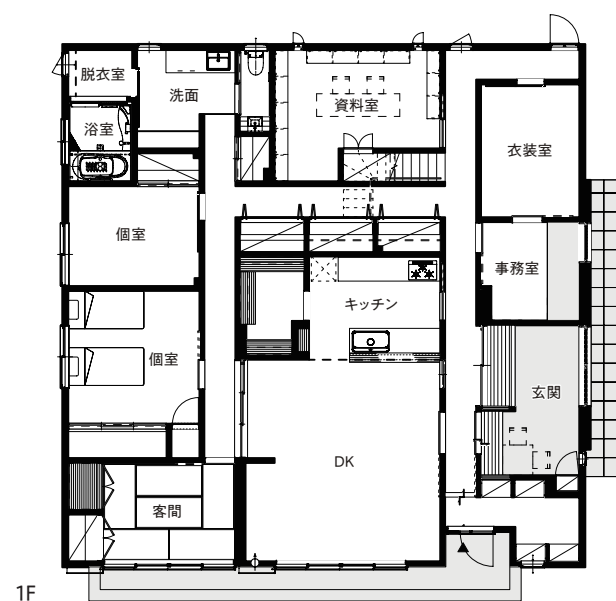
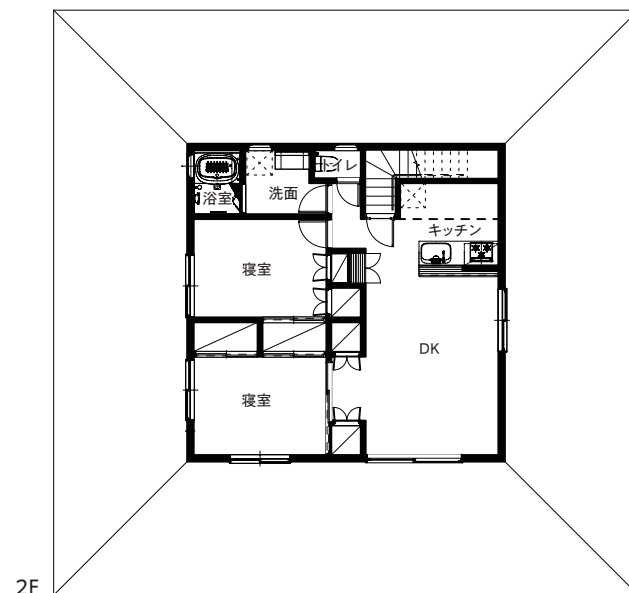
所在地：埼玉県
構造：木造
建築面積：89.26㎡
延床面積：256.25㎡
土地面積：5546.92㎡

昔ながらの日本家屋に長く住まれていた家族の二世帯暮らしの家は、広い敷地にどっしりと雄大に佇む方形屋根が特徴の大きな2世帯住居。子供世帯もゆくゆく生活することがメインとなる1階はしっかりとした設えにし、その分2階はリーズナブルなつくりにすることでコストバランスもしっかりと計画。

1階は現代的な設えと和をミックスしたスタイルをベースに、客用玄関の天井と壁面には本漆喰の左官仕上げを採用し、和室の欄間とリビングの組子の建具は古い家のものを綺麗に整えサイズも調整して再利用している。

キッチンとパントリーを合わせて27畳のリビングは天井高が2.8mと気積も大きく、加えて廊下側の3枚の引き込み戸を開くとリビングと廊下が一体となりより広く空間を感じられる。将来の介護も視野に入れ車椅子でも使い易いようにドアは引き戸をメインにし、廊下の幅は通常よりも50mm広げた設計に。

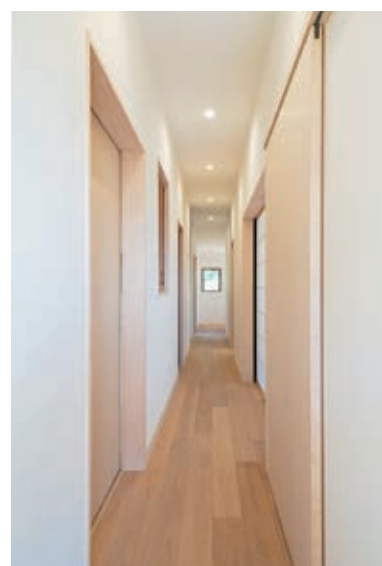
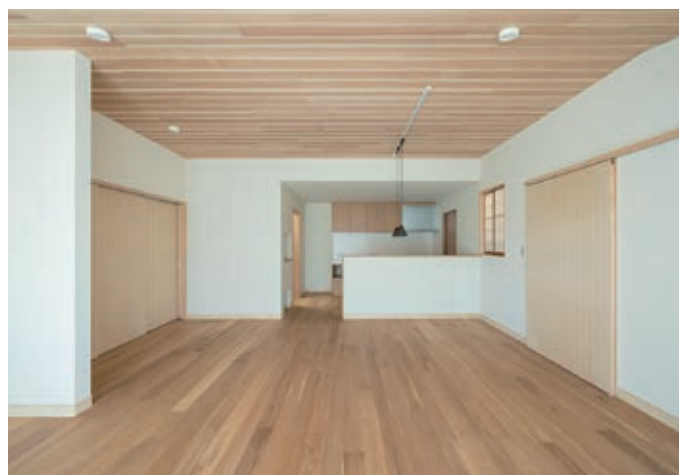
2階は建物全体の高さを抑えるために軒高を広くし、その代わりに天井を低くすると居室の空間が狭くなるので勾配天井と梁を現しにすることで広く感じる空間を確保している。





【01】書籍が多いお施主様のために書籍専用の書庫をひと部屋設けた。【02】キッチン脇のパントリの入り口にはニッチスペースを確保。【03】大家族が使う大きなキッチン。【04】お客様用玄関の壁は本漆喰の左官仕上げ。正面の組子の建具は建て替える前の家で使っていた古いもの。綺麗に整えサイズも調整して再利用。【05】キッチンを正面にして右手が玄関、左手にはそれぞれの個室が。【06】再利用した欄間を設けた和室。【07】廊下側の3枚の引き込み戸を開くとリビングと廊下が一体空間となる。【08】クローゼットと書庫の部屋へと続く長い廊下。

01	02	03
04	05	
06	07	08



01
02
03

【01】27畳のリビングは天井高が2.8m。杉疋目上小節材で仕上げた天井は上品な印象に。【02】1階親世帯、2階子供世帯の上下2階建の二世帯プラン。【03】方形屋根と軒裏は垂木現しが特徴的な建物の壁には、土壁左官掻き落とし仕上げと杉（赤身上小節）の羽目板張りのコンビネーションを採用。

08

高台の家



所在地：神奈川県中郡大磯町

構造：木造

建築面積：95.57㎡

延床面積：130.83㎡

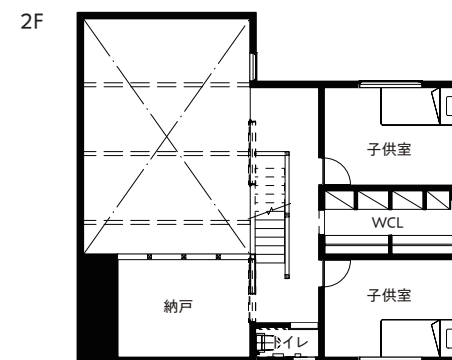
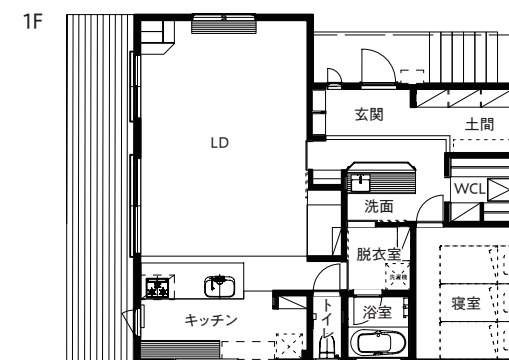
土地面積：207.92㎡

お子様に自然と触れ合う生活をさせたいという思いと、釣り好きなご主人が海に近い環境での暮らしを求め都内から大磯に移住。玄関前の大きな庇は雨に濡れることなく室内に入ることができ、モルタル仕上げの玄関土間にはキャンプなどのアウトドアの道具を収納する造作棚に加え、釣り竿の収納用に有孔ボードを設置。外壁には北海道産の無垢杉材とモルタルのコンビネーションを採用することで、素材感を際立たせるデザインとなった。

気積の大きい吹き抜けリビングを中心に、どこにいても家族の気配を感じられるような間仕切りの少ない空間を実現。お子様を部

屋に籠らせたくないというご夫婦の思いから、2階の子供部屋の壁を天井までつくらずオープンにして廊下やリビングと緩やかに繋げた。

施工が始まり一階から二階までの抜けた空間と広い壁が見えてきた時に、アスレチックワールドをつくりたいという要望で急遽下地をつくり、ご主人がセルフで木製のホールドを取り付けてボルダリングの壁が完成した。外で思いっきり自然に触れ、部屋の中でも思いっきり遊べる環境で成長していくお子様の姿や、笑顔の絶えない幸せな家族の暮らしがそこには存在している。





01

02 03 04 05

[01] 気積の大きい吹き抜けリビングの先にはウッドデッキが広がる。
[02] LDKと2階が緩やかに繋がる吹き抜け。
[03] 吹き抜けに面した階段。
[04] 玄関と水回りをぐるっと回遊できる洗面室には、無垢材のカウンターとタイルを設えた。
[05] 玄関前の大きな庇が特徴的なポーチ。

01

02 03 04

[01] 造作キッチンをご主人が釣った魚を捌ける大きなシンクを採用。天板の高さも背の高いご夫婦に合わせて高くしている。
[02] 北海道産の無垢杉材とモルタルのコンビネーションの外壁。
[03] ナラのフローリングをモザイク貼りしたエントランスウォールと、収納を充実させた玄関土間。
[04] 高窓からの光を上手に取り入れた2階の廊下と子供部屋。

09

小磯の家

所在地：神奈川県中郡大磯町

用途：住宅

構造：木造

建築面積：60.24㎡

延床面積：96.06㎡

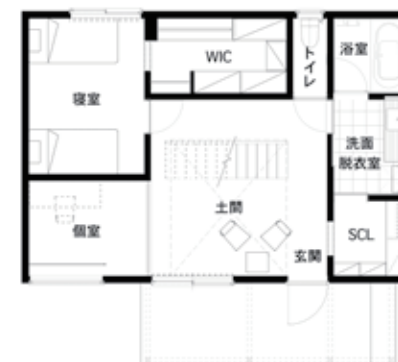
海と山が程よく近い自然豊かな大磯のおおらかな敷地に、シンプルで心地よいお家が完成しました。開放感あふれる吹き抜けと土間が緩やかに庭へと繋がり、深い庇の下では外の空気を感じながら寛げる癒しの時間も楽しめます。

外シャワーから玄関の土間、そしてバスルームへと繋がる機能的な動線設計は、サーフィンを楽しむご主人のライフスタイルに寄り添った設計に。熟練の左官職人による人造石研ぎ出し仕上げのキッチン天板と、無垢材を使って造作で設えた収納は料理好きな奥様の拘り。

ご夫婦の趣味を思いっきり楽しむ住まいは、暮らしに彩りを添え毎日が特別な時間になる場所となりました。



1F



2F





01	02
03	04
05	

[01] 土間とゆるやかに繋がる書斎は、光と気配をほどよく取り込みながら庵れる場所。[02] 土間に設えたスケルトン階段が、吹き抜けへと軽やかに伸びる。
 [03] ダイニングから吹き抜け越しに、リビングの気配を感じる。[04] 奥行きや幅まで綿密に設計された、完全オリジナルの造作ソファ。[05] ゴロツとくつろぐ場としても、来客用としても機能する、多目的な小上がりの畳スペース。

[01] 人研ぎ天板とモルタルの腰壁で構成した、奥様こだわりの造作キッチン。[02] 無垢材の質感が際立つ洗面カウンターに、収納やディスプレイに便利なニッチをプラス。
 [03] 玄関から土間、シューズクローク、洗面、浴室へと、スムーズに回遊できる生活動線を設計に。[04] 勾配天井がもたらす開放感とやわらかな光に包まれた、家族の笑顔が集うダイニングスペース。[05] 大きく張り出した庇が印象的な、土間とゆるやかに繋がる玄関ポーチ。

01	02	03
04		05

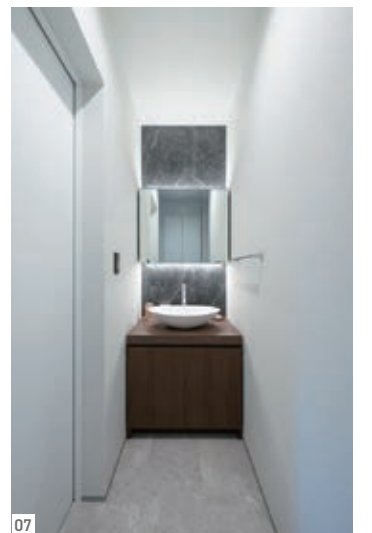
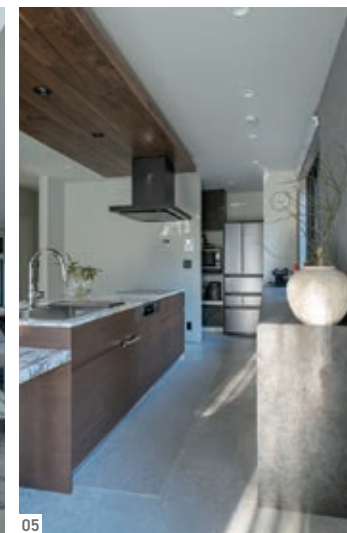
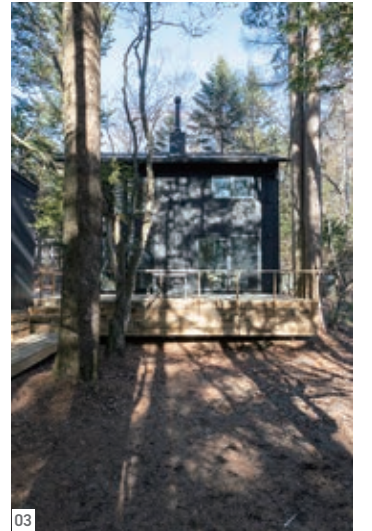
10

森の中の家

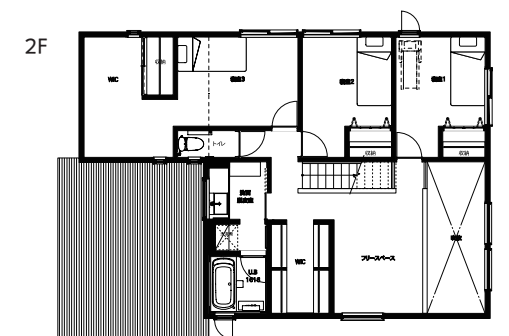
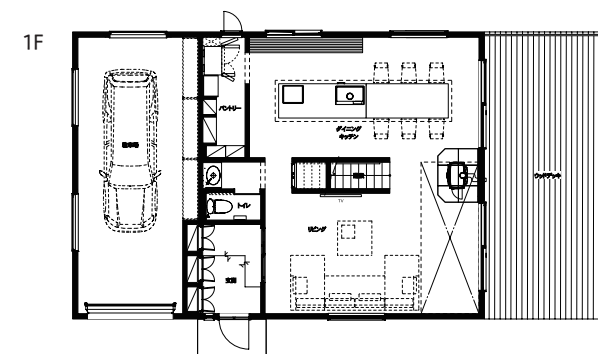
文筆家、文化芸術プロデューサーなど多岐にわたる肩書を持つ浦久俊彦氏が、自身の拠点としてご両親と一緒に都内から移住し二世帯で暮らすために建てた「森の中の家」。外壁には焼杉を採用し、周囲の環境に馴染みながらも存在感のある佇まいとした。寒冷地での快適な暮らしを実現するため、断熱材にはセルロースファイバーを用い、

開口部には高性能なトリプル樹脂サッシを採用。厳しい気候条件の中でも安定した室内環境が保たれている。内装はホテルライクな設えをテーマに、素材やディテールを厳選。造作キッチンの天板とダイニングテーブルには同じ大判タイルを用い、空間に統一感と上質さをもたらした。アクセントウォールに採用したSOLIDO は

無機質な素材感の中に陰影とリズムを加えた。LDK は東・西・南の開口部に加え、吹き抜けからも光を取り込み、時間帯によって異なる自然光を楽しめる明るく開放的な空間に。リビングとダイニングの間に階段を配置することで、回遊性のある動線を確保しながら、それぞれの領域が程よく独立する構成としている。



[01] 母屋と図書棟をウッドデッキでつなぎ、庭を通して家全体がつながる設計に。[02] ウッドデッキと繋がるリビングダイニング。[03] 森と光に包まれる、自然と寄り添う軽井沢の暮らし。[04] 吹き抜けを介して上下階がつながり、それぞれの場所で家族の気配を感じることができる。[05] キッチン天井には無垢材で設えたパネルがアクセントに。[06] 大きな窓から差し込む自然光が室内を優しく包み、ゆったりとした時間が流れる空間に。[07] 壁越しに広がる、間接照明のやさしい光。[08] 薪ストーブと階段を中心にリビングとダイニングを緩やかに分けることで、それぞれの空間に心地よい距離感を演出。



所在地：軽井沢 用途：住宅 構造：木造 建築面積：162.05㎡ 延床面積：257.05㎡



【01】一万冊以上を収める図書棟。三角屋根の勾配に沿ったハイサイド窓からは自然光が優しく降り注ぐ。【02】左手奥の部屋はみんなが籠れる場所に。中央階段の蹴込板部分を収納として活用し、デッドスペースを有効利用。【03】杉板の外壁が周囲の自然に調和。シンプルなプロポーションが構造的にも安定性を保ち、視覚的な軽やかさを演出。【04】二階の床に直接腰掛け上部からもイベントに参加できる立体的な空間構成。【05】天井までの収納で空間を最大活用。効率と使いやすさを考慮したボックススペースの設計。【06】光に包まれた、あるじだけの静かな書斎。【07】職人の手仕事光る、デザインに温かみを加えた木の手摺。【08】本棚の隠し扉を開けると、大小さまざまな小部屋が点在する。

11

軽井沢森の小さな図書館

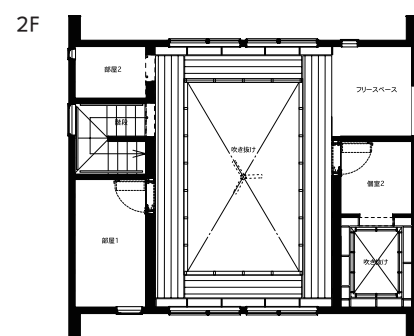
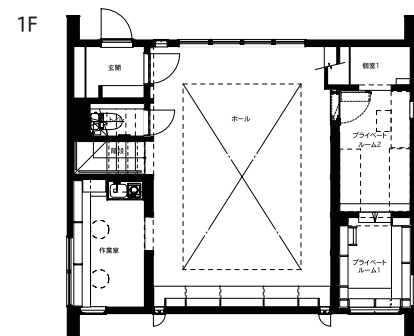
文筆家、文化芸術プロデューサーなど多岐にわたる肩書を持つ浦久俊彦氏が、自身の拠点として建てた母屋「森の中の家」に隣接する図書館が完成した。

伊東豊雄建築設計事務所からのお声掛けにより、伊東豊雄プロデュースのこのプロジェクトにチームメンバーとして参画。浦久俊彦氏と建築家・伊東豊雄が中心となって、さまざまな分野で活躍する市民メンバーとともに、

新世代と旧世代の境界を超えて交流し、学びの場となる本と文化拠点の形成を目指した。一万冊以上の蔵書を収容する図書館は、地域に開かれた公共空間として、一階の吹き抜けを中心に構成。吹き抜けは展示やトークイベントなど多様な用途を想定しており、二階の床に直接腰掛け上部からもイベントに参加できる立体的な空間構成とした。

書架には杉材105×210の柱を用い構造体を

兼ねた計画。大量の蔵書荷重を合理的に支持すると同時に、連続する木の柱が空間に秩序とスケール感を与え、公共建築としての落ち着きと親しみやすさを両立させている。また、中央ホールに面した本棚の扉の裏側には、大きさや用途の異なる小部屋を点在させて配置。多様な居場所が生まれる構成とすることで、図書館としての静と動、個と集のバランスを図っている。



所在地：軽井沢 用途：図書館 構造：木造 建築面積：61.99㎡ 延床面積：88.12㎡

12

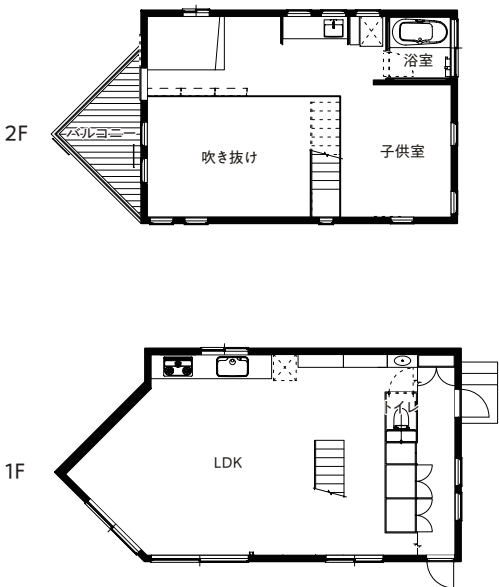
半島暮らしの家

家具職人のご主人が住みながら自分達の手でつくり上げていく家。内装の仕上げも家具の設置も自分達で自由に行えるような箱をつくって欲しい、との依頼で設計が始まった。大きな空間構成や外装、断熱やサッシなどの性能部分と、内部に関しては一部の漆喰左官仕上げを行い、その他の内装は石膏ボードまでの状態で引き渡した。

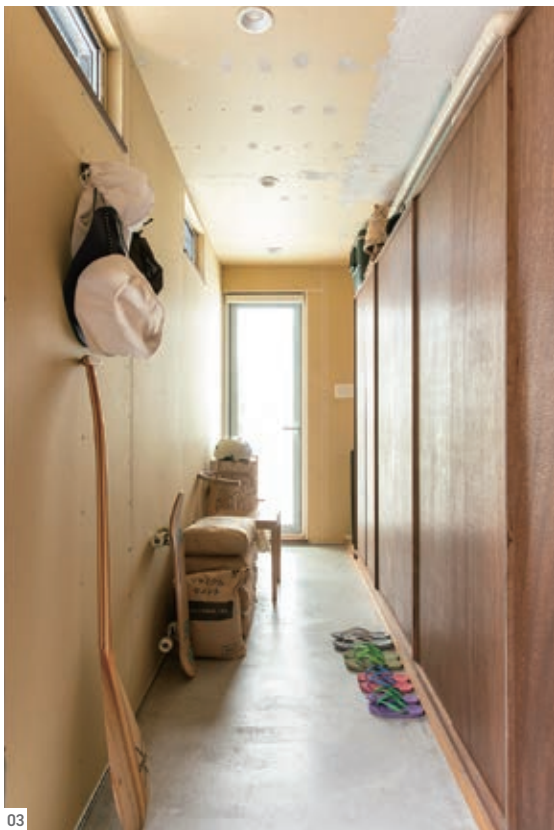
道路に面した三角の敷地に対して建物の配置をどうするかを幾通りも考え、リビングの端の角度を南側に振ることで道路からの視線を遮断し、南向き大開口の掃き出し窓からのビューを楽しめるような設計に。

断熱材には天然木質繊維を原料とする、地球と人に優しいセルロースファイバーを採用している。また、風の通りと光の入り方なども細かく模型で検証して設計に反映することで、夏場であってもほとんどエアコンに頼ることなく快適に過ごすことが出来ているそう。

気積が大きく気持ちの良いリビングから繋がるようなアプローチのウッドデッキは、中と外の空間が程よく曖昧で心地良い。家族みんなで山の木々を眺めながら外のデッキで食事を楽しむ光景がそこに存在している。



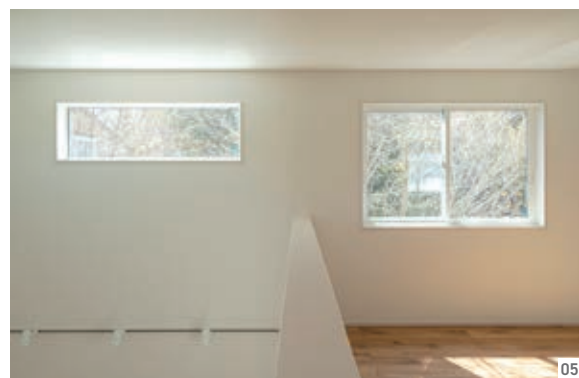
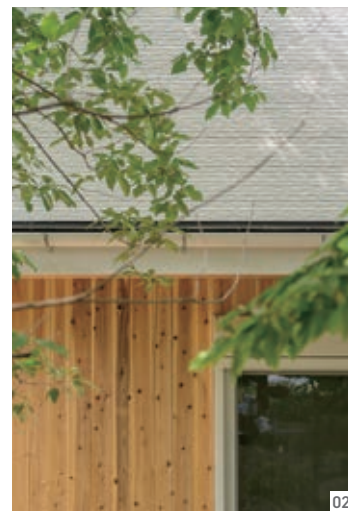
所在地：神奈川県三浦郡 構造：木造
建築面積：50.23㎡ 延床面積：81.26㎡ 土地面積：154.34㎡



【01】 渓谷のような景色を眺められる屋根の上のバルコニー。 【02】 鉋張りしたウィルウォールの外壁。 【03】 玄関から裏勝手口まで繋がる土間収納。



【01】 大開口の窓からウッドデッキを介して内と外が繋がるリビング。 【02】 気積の大きい吹き抜けリビング。 【03】 シンプルな造作キッチン。 【04】 施主がつくったアイロンの造作階段。 【05】 ヘリンボーン張りのフロアはオークの無垢材を使用。



【01】 屋久島の地杉のウッドデッキから目の前に広がる庭をのんびりと眺める。【02】 外壁の一部に設えた杉板のアクセント壁。【03】 敷地内に広がる木立の景色に馴染む佇まいの建物。【04】 1階と2階を繋ぐ吹き抜けのリビング。【05】 2階の腰壁からは1階の気配を常にかんじることができる。【06】 車椅子用にワイドを広く取った廊下。【07】 トイレ、洗面、バスルームは、お母様の居室からすぐにアクセスできるよう近い動線で配置。

木立の家

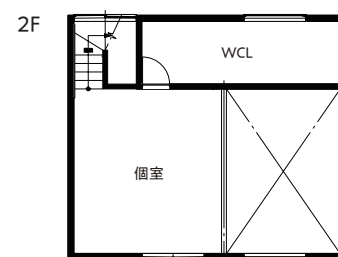
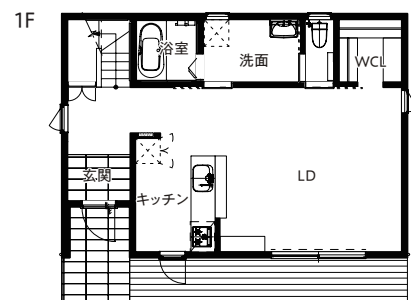
元々住まれていたアパートの前にある緑地に建てられた親子2人暮らしのシンプルで機能的な家は、ご高齢のお母様が生活し易いようにバリアフリー設計に。

1階は主に車椅子を使われるお母様のために高低差をなくし、内壁の仕切りは水回りのみと最小限に抑えることで車椅子の可動域を大きく確保した。水回りの動線は介護

を重視し、トイレと洗面脱衣室をひと続きにしたいとの施主からの要望で、廊下からのアクセスに加えてトイレと洗面室の間にもドアを設けている。

1階を生活の中心とするお母様の居室兼LDKに設けた大きく開く引き違いの窓からは、緑豊かな木々が生い茂る木立の景色が広がる。吹き抜けに設けた高窓から降り

注ぐ光は、1日を通してリビングを優しく照らしている。2階の居室はあえて壁を天井まで塞がず腰壁にすることで、吹き抜けを介して2階にいても1階に居るお母様の様子や気配を感じることができるようなプランに。シンプルで機能的な木立の家は、親子の愛情あふれる優しい暮らしがそこに存在している。



所在地：千葉県 構造：木造 建築面積：57.97㎡ 延床面積：87.36㎡ 土地面積：193.42㎡



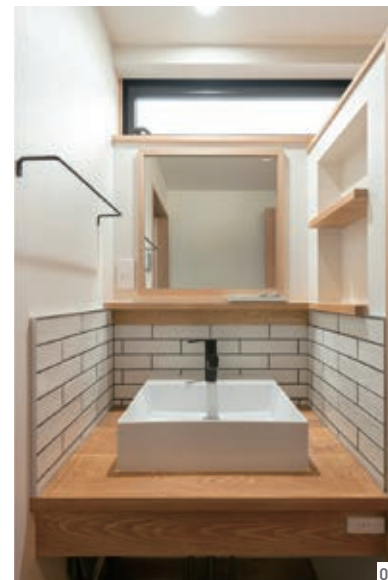
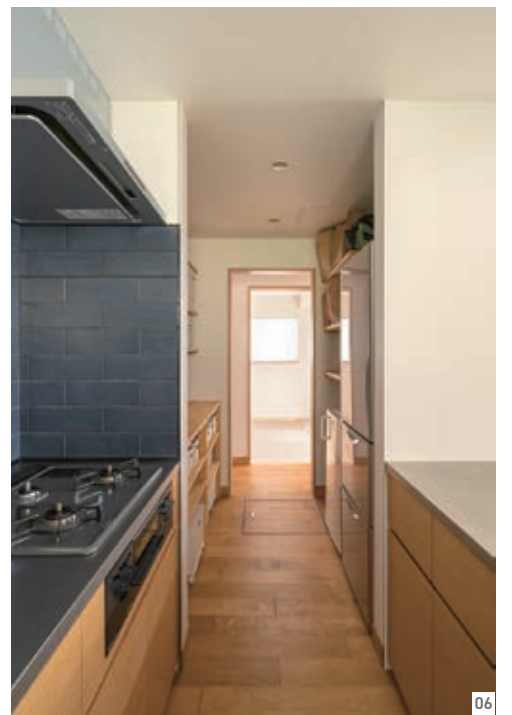
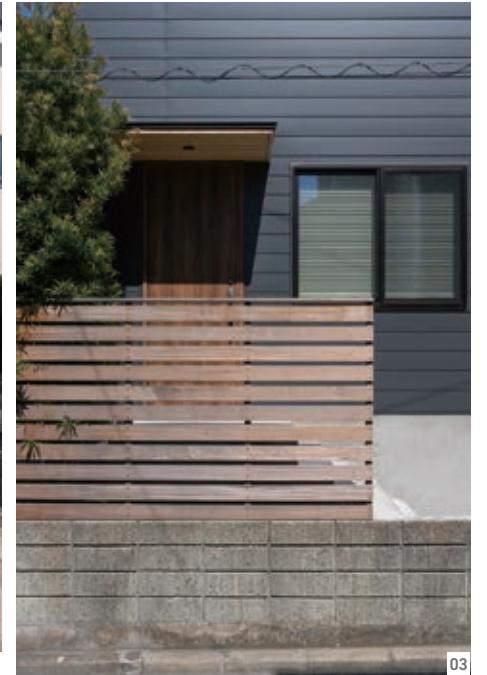
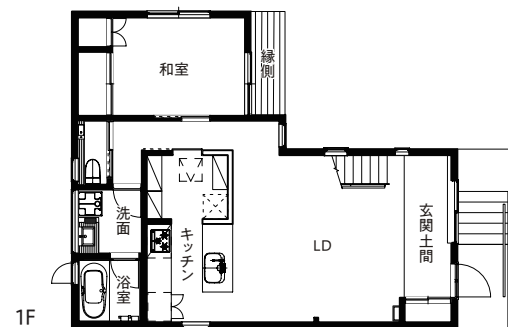
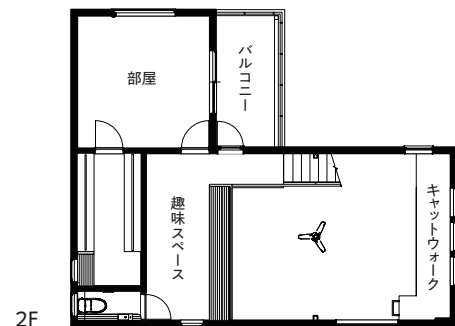
14

登り坂の家

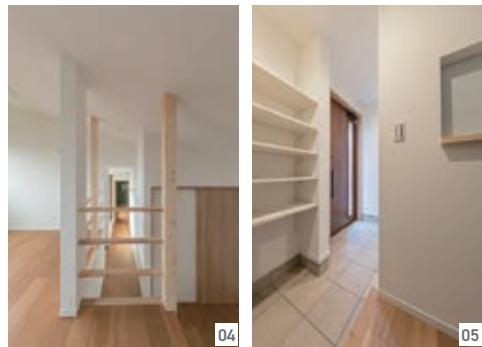
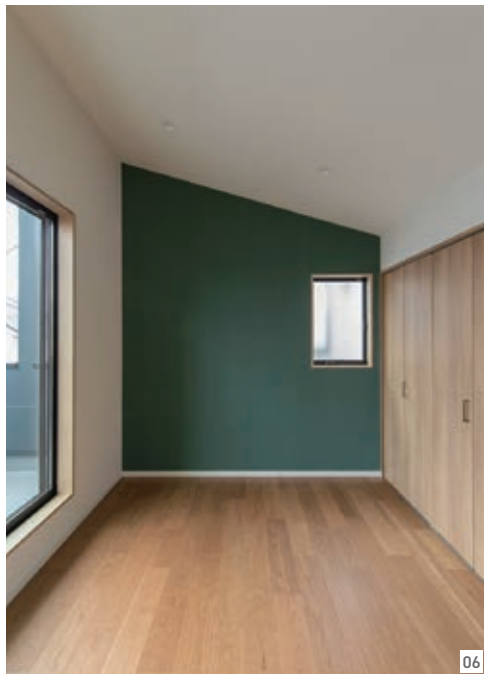
昔から住んでいた既存建物を建て替え新築へと生まれ変わった登り坂の家は、道路と建物の地盤面に1.5mの高低差がある斜面にある住宅地。立地上、借景が望み難いため、高さや広さの工夫で豊かな室内空間になるようプランニング。

玄関がある正面建物は切妻の屋根に、対して居室がある建物は片流れの屋根にして建物全体のボリュームをうまくコントロールした。吹き抜けリビングの天井は、野地板と垂木、トラス張りを表しの仕上げとして見せ、LD、土間、キッチンが切妻屋根の無柱空間の中にワンルームとして存在している。和室兼ゲストルームには小さいながらも縁側を設え、バルコニーの軒の下でほっこりとした時間を過ごすことも出来る。サーフィン好きなご主人のために、ワークスペース壁面、土間、キャットウォークスペースなど、たくさんのサーフボードを置く場所を数箇所設けた。外壁には色と素材に拘ったサイディングと杉板を採用し、周りの家と街の雰囲気に馴染む佇まいとなった。

所在地：神奈川県横浜市 構造：木造 建築面積：62.94㎡ 延床面積：103.81㎡ 土地面積：127.87㎡



【01】切妻屋根の天井は野地板と垂木を現しの仕上げとして見せている。【02】黒のサイディングと杉板の外壁。【03】玄関前の目隠し板張りフェンス。【04】吹き抜けリビングを見上げた天井は現し仕上げ。土間とキャットウォークスペースにはサーフボードとウエットスーツを収納。【05】造作のアイアン階段。【06】キッチンから繋がるように配置したパントリーへの動線は使い易さを確保。【07】造作のトイレ手洗いカウンター。【08】タイルと組み合わせた無垢材を使った洗面カウンターとニッチスペース。



15

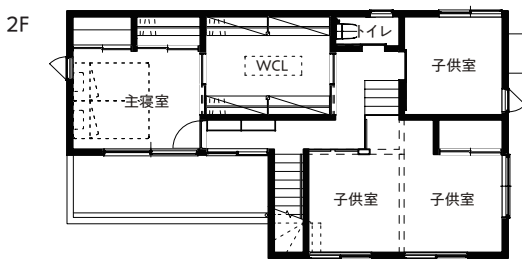
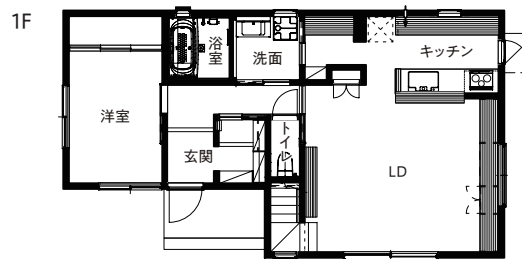
泉の家

建具やアクセントウォールなど、色のバランスを上手く取り入れた泉の家は、家族が集まる1階リビングの天井を吹き抜けのように高く設計することで、LDに大きな気積と解放感溢れる空間が実現。ここは住宅地という立地でけて開けた環境ではないが、高窓を取る位置を工夫したことで空が綺麗に見え、且つリビングにも明るい自然光を採り入れた。

洗面、バスルームまでの動線を廊下の機能と兼ね一直線に繋げ、家族が多くても生活動線の渋滞を最小限に抑える設計に。2階の主寝室と3人の子供部屋の間には、家族全員分の収納をウォークスルーで往来できるウォークインクローゼットを設えている。1階の天高の上にある2階の子供部屋は、スキップフロアにすることで床面積をしっかりと確保し、また、将来2部屋に分割できるような設計にしている。少しだけ目線の

高いこの部屋は、お子様たちが元気に走り回れる遊び場となっているよう。オークの無垢材フローリングは私たちSPCスタッフとお施様ご家族でオスモフロアクリアの塗装をみんなで行之、LDKに設えたTV台は現場担当がデザインをするなど、家づくりに関わったみんなの思いがたくさん各所に詰まっている。

【01】吹き抜けのように高く設計した天井と、彩光を確保するための高窓。【02】オーク無垢材のフローリングと、キッチン背面のアクセントウォール。【03】1階の天高の上にある2階の子供部屋は将来2部屋に分割予定。【04】スキップフロアから繋がる廊下。【05】玄関シューズクロークと土間収納。【06】グリーンのアクセントウォールを設えた主寝室。



所在地：神奈川県横浜市 構造：木造 建築面積：63.55㎡ 延床面積：122.25㎡ 土地面積：160.30㎡

16

那須白河の別荘

テーマは愛犬と家族がゆっくりと過ごせる別荘。大きなリビングに面したウッドデッキから繋がる広いドッグラン、温泉が出るワンちゃん専用の室内手洗いシンク、滑り止め加工を施した無垢材フローリングを採用するなど、愛犬に対するお施主様の愛情がたくさん詰まった家。

寒冷地であるこの地は雪対策の計画も重要

なため、通常の2倍以上基礎部分を高く上げて雪から家を守る設計となっている。3間の無柱空間を確保するための広いリビングの構造は、構造設計士と何度も打ち合わせを重ねながら架構の工夫にかなりの時間を費やして実現。リビングにある暖炉周りの床のデザインと施工方法は、現場で大工と話し合いながら作り上げた。

普段使いのユニットバスとは別に在来工法でつくった温泉風呂は、温かく柔らかく頭を支えられるよう笠木に檜を採用し、檜の良い香りに癒されながらゆっくりと寛ぐことが出来る。大自然の中で季節の移ろいを感じながら、愛犬が庭で思いっきり走り回って遊ぶ姿と、家族みんなの幸せな笑顔と光景が目に見えてくるような家が完成した。



01



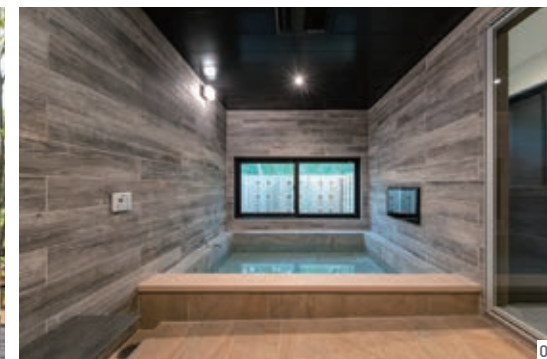
02



03



04



05



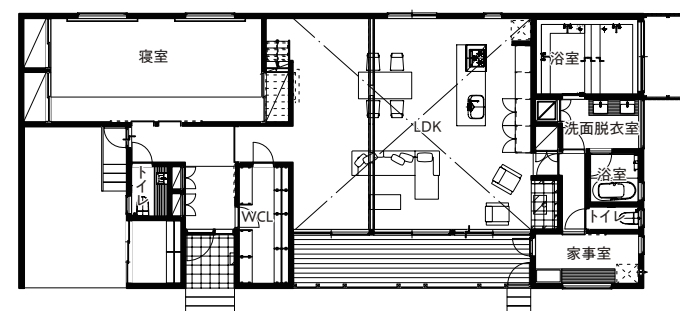
06



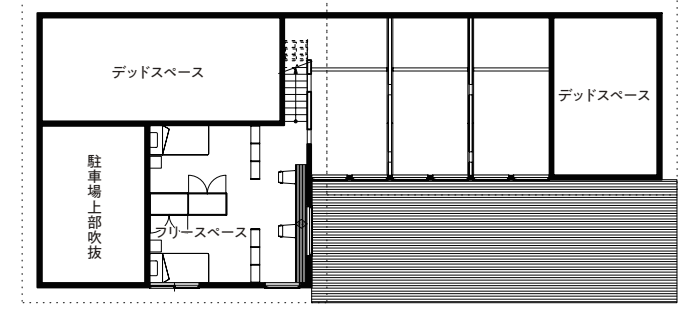
07

【01】ふたつのボリュームから成り立つファサード。リビング上部の高窓から光を取り込む。【02】森の中の別荘地に佇む平屋のような別荘。【03】片流れ屋根部分2階の居室。【04】国産無垢杉材と縦羽目貼金属サイディング貼の外壁。【05】笠木に檜を採用した在来工法の温泉風呂。【06】トラス構造を採用することで無柱の大空間を実現させた。【07】無垢杉板張りを設えた勾配天井。

1F



2F



所在地：福島県岩瀬郡 構造：木造 建築面積：190.46㎡ 延床面積：205.36㎡ 土地面積：1147.41㎡

費用例

設計・施工費／坪120万円～

※費用は税抜き価格です。社会情勢等により価格が変更になる場合があります。
※新築戸建て住宅、設計施工の場合。店舗など住宅以外は応相談になります。
※新築木造戸建ての場合。100㎡以下は応相談になります。
※確認申請、ほか行政関係申請手数料、水道開通料金、地鎮祭費用、上棟式費用は設計・施工費とは別途になります。

会社概要

- 名 称 ＞ 株式会社 Same Picture Company（セイムピクチャーカンパニー）
- 代 表 者 ＞ 代表取締役 木平 岳彦／代表取締役 近藤 奈々子
- 住 所 ＞ 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1790
- T E L ＞ 046-854-9008
- F A X ＞ 046-854-9422
- 設 立 ＞ 令和元年07月
- 業 務 内 容 ＞ 住宅・店舗・施設等の設計・施工／住宅などのリノベーション
不動産の紹介／家具・照明などの販売
- 建築士事務所登録 ＞ 神奈川県知事登録第11481号
- 建 設 業 の 許 可 ＞ 神奈川県知事 許可（般-2）第87289号



株式会社 Same Picture Company

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1790
TEL 046-854-9008 FAX 046-854-9422

HP > 

Instagram > 

SAME PICTURE COMPANY